

審判上の確認

1. 本大会は、2024年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。
2. 監督・選手は競技規則に精通し、これを厳守すること。
3. リベロはチームキャプテンにもゲームキャプテンにもなれる。
4. プロトコール時の公式練習は3分間ずつとし、合同練習の場合は6分間とする。
5. 公式ウォームアップ開始前に監督は、記録用紙の選手リストの中からリベロとして登録する選手の番号をリベロ選手欄に記入し、サインする。また、チームキャプテンは試合開始前と試合終了後にサインする。
6. 各セット開始前に提出されたラインアップシートは、記録員が記録用紙に記入完了後の変更は認められない。ただし、スターティングラインアップの選手が試合前に負傷した場合は、監督がファーストレフェリーに申し出て、確認後変更することが可能である。（この変更は選手交代に含まれない）
7. 正規の試合中断は、監督が要求できる。監督が不在の場合、アシスタントコーチまたはゲームキャプテンだけが要求できる。
監督が罰則の適用を含めなんらかの理由でチームを離れなければならなくなった場合、ゲームキャプテンの要求に基づきファーストレフェリーが確認すれば、監督不在中にアシスタントコーチは監督の役割を引き継ぐことができる。
8. 選手交代のためのナンバーパドルは使用しない。ブザーも使用しないので要求の受付は審判員の吹笛で行う。
9. チームが2組以上の選手交代を同時にしようとするときは、同一の要求とみなせるように、すべての交代選手が同時に選手交代ゾーンに入らなければならない。この場合、交代は1組ずつ連続して行われる。
10. 監督は試合を妨げたり、遅らせたりしなければ、自チームベンチ前のアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。
11. チームのすばらしいプレーに対して、ベンチの構成員が立ち上がってその喜びを表すような態度は罰則の対象とならない。しかし、競技役員、相手チーム、チームメイト、さらに観衆等に対する不法な行為は罰則の対象となる。
12. ユニフォームを着替えるときには、ゲームキャプテンが主審、もしくは副審の許可を得て、セット間または選手交代後に行う（フロア内での着替えはできない）。この場合、着替えた後のユニフォームは色、デザイン、番号が着替える前の物と同じでなければならない。
13. 試合の前後は、選手14名がエンドラインに整列し主審のホイッスルで挨拶をし、対戦チームと握手をする。なお、監督、キャプテンは、主審、副審にもその場で挨拶する。